

借受申込書および借用証書の記入について

貸付金のご利用には一般資金貸付借受申込書（住宅資金は別様式）・借用証書・添付書類（生活資金・災害資金は除く）が必要です。

記入例

生活資金100万円借用、月賦とボーナス併用返済の場合

一般資金貸付借受申込書

令和 7 年 4 月 16 日

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団理事長 様

申込人 住所 新潟市中央区東中通 1-86-73

私は、貸付規程第 12 条 2「貸付保険に係る個人情報
の取扱」に同意の上、貸付けの申込みをします。

署名 財団 花子 
生年月日 昭和 平成 9 年 2 月 4 日

氏名・職員コード <u>財団 花子</u> 9:9:1:2:3:4:5:6 新潟市の職員は8桁の番号を記入	所属所・所属コード <u>〇〇〇学校</u> 9:9:9:0:0:0	申込金額 <u>100</u> 万円	借入希望資金を○で囲む <input checked="" type="checkbox"/> 生活・自動車・結婚 <input type="checkbox"/> 入学・学資・災害
--	--	-----------------------	---

現在の借入状況について				借換希望の場合記入（借換は借受より2年経過しないとできません。）			
借入機関	件数	借入金額	返済月額	貸付金	貸付年月日	貸付金額	
共済組合		万円	円	〈 〉	資金貸付金	年 月 日	万円
互助会		万円	円	〈 〉	資金貸付金	年 月 日	万円
厚生財団	1	50 万円	8,589 円	〈 〉	資金貸付金	年 月 日	万円
その他		万円	円	〈 〉	資金貸付金	年 月 日	万円

結婚（予定）年月日 年 月 日

結婚する者の氏名（団員の場合記入不要） (続柄) _____

結婚する相手方氏名 _____

上記のとおり相違ないことを証明します。

所属所名 _____

所属所長氏名 _____  職印

入学資金金の場合記入

対象者名 (続柄) _____

学校名 _____ 入学資金の場合は入学する学校名
学資金の場合は在学中の学校名を記入してください。

入学年月日 年 月 日

給料総支給月額 ※ 円 ※借入れ状況によりお問い合わせすることがありますので、記入は不要です。

生活資金借用証書

（一般資金貸付借受申込書 添付）

一般財団法人 新潟県教職員厚生財団理事長 様

借用人 住所 新潟市中央区東中通 1-86-73

署名 財団 花子 



私は、左記の金額を確かに借入いたしました。
ついては、左記のとおり返済するとともに、次の各事項について確約します。

- 毎月の返済額は、私の給料から差引られることに異議はありません。
- 借用人の都合により、この借受金の内入返済を行った場合、返済期限と最終回の返済月額は、貴財団の再計算によるものとします。
- この債務を履行しなかった場合には、貴財団の占有している私の厚生資金積立金及び厚生費を、この借受金残高に充当できるものとします。
- 退団・死亡及び脱退のときは、借受残高を一括返済します。
- 前号の借受残高の一括返済にあたっては、貴財団による差引計算にない、貴財団の占有している私の厚生資金積立金及び厚生費を借受残高に充当し、相殺することに同意します。
- この約定を履行しないとき及び、返済期限までに借受金元金の返済を完了しないときは、その残高に對し貸付金利子の2倍の割合（年3.65日の日割計算）の延滞料を支払います。
- 将来利率を変更する場合は、改正利率実施日の借受残高にも改正利率を適用することに同意します。
- 借用人は、次の各号の事由の一つでも生じた場合には貴財団に對するいつの債務の期限の利益を失い、直ちに借受残高全額を返済します。
イ. 元利金の返済が1回でも遅滞したとき。
ロ. 借用人が差押え・仮差押え・仮処分・競売手続きの開始があったとき。
- 借用人の資産・信用等に重大な変化を生じ、この借受金の返済が困難と認められたとき。
- 前各号のほか、債権保全を必要とする相当の事由が生じたとき。
- 債務の実行及び保全のために要した費用は、すべて借用人が負担します。
- この貸付について公正証書を作成する必要が生じたときは、如何なる場合でもその請求に応じます。
- この貸付けについて訴訟が生じたときは、貴財団所在地の裁判所の管轄に合致します。以上

申込年月日	令和 7 年 4 月 16 日	
借用金額	金 1,000,000 円	
利率	年 1.20 % (月利 0.100%)	
返済方法	○月賦とボーナスの併用 ・月賦のみ	
元利均等返済分	借入金額のうち	金 500,000 円
	返済額	令和 7 年 5 月末日 返済額 令和 13 年 4 月末日
半年賦元金均等返済分	借入金額のうち	金 500,000 円
	返済額	令和 7 年 6 月末日 返済額 令和 12 年 12 月末日
受取金融機関	一割当りの元金	42,000 円
	最終回の元金	38,000 円
返済回数	返済回数	72 回 (6 年)
	返済回数	12 回 (6 年)
受取金融機関	フリガナ	〒187-8773 銀行・信金・信組 口座名義人 財団 花子
	支店	支店番号 (123) 口座番号 1234567

借用人は、本所属所の職員であることを証明します。

所属所名 新潟市立 〇〇〇 学校
所属所長氏名 厚生 - 郎  職印

- 押印・捨印・収入印紙貼付等にもれないように記入例を参考にして全てご記入ください。
- ネーム印、スタンプインクの使用はできません。
- 返済回数と返済月額は、各貸付金の返済月額表を参照してください。
- 月賦とボーナス併用返済の場合は、半額ずつの返済です。
(例) 借用金額100万円の場合は、元利均等月賦返済分が50万円、半年賦元金均等返済分が50万円となります。
- 返済始期、返済期限は各貸付金の返済回数によりご記入ください。
月 賦 返 済 … 始期は借入れの翌月です。期限は、72回（6年）の場合、6年後の借入れ月です。
ボーナス返済 … 6月～10月の借入れの場合は始期が12月、期限が6月です。
11月～5月の借入れの場合は始期が6月、期限が12月です。
- 受取金融機関は、借用人名義の口座を記入してください。
- 借用金額等を訂正するときは、誤記部分を二本線で消し、訂正箇所証書に押した印鑑をはっきりと押してください。
ナイフでの削取りや、修正液の使用、数字をなぞることのないようにしてください。